

令和3年度資金収支当初予算について

1 令和3年度資金収支当初予算の概要

(1) 法人の経営状況について

令和3年度は、法人の第五期中期計画の最終年度であり、計画に掲げる施策を具現化するとともに、次期計画のための安定した経営基盤を確立する重要な年度となる。

秦野精華園と希望の丘はだのは、組織を再編して2施設での運営を開始してから2年目を迎える。秦野精華園は、民営化により指定管理料等の収入が大幅に減少する中、家族会からの要望である支援の質と量を確保するために職員の配置を厚くしていること等により、厳しい経営が続いている。一方、希望の丘はだのは、施設の開所から1年が経過したが、開所時より定員が充足されない状況が続き、利用率の向上と収入の確保が大きな課題となっている。両施設ともに経営の改善が求められる中、希望の丘はだのにおいては男性と女性の定員枠を変更して新規利用者の獲得に向けた取り組みを行うこととし、また、秦野精華園と希望の丘はだの両施設の組織体制を見直し、適切かつ効率的な支援体制を構築するとともに、収入確保のための取り組みと併せ、経営の改善を図るための対策を早急に進めていく。

厚木精華園は、第2期指定管理期間の折り返しとなる6年目を迎える。入所者の高齢化が進み、入所者の入院等により稼働率が低下するという状況が常態化しており、そうしたことによる減収をどう補っていくかが課題となっている。また、厚木精華園のグループホーム事業において、利用者定員の充足に至らない状況が続いていることから、7つあるグループホームのうちの1つを令和2年度末で閉鎖し、令和3年度から体制を再編して経営の改善を図ることとした。

愛名やまゆり園は、厚木精華園と同じく第2期指定管理の6年目を迎える。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により短期入所事業の大幅な減収があったものの、本体施設における施設入所支援等のサービスの利用状況は安定しており、令和3年度も安定した経営が継続できる見通しとなっている。また、愛名やまゆり園が展開する自主事業については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響でいずれのサービスも稼働率が低下し、令和3年度においても厳しい経営が見込まれる。特に、飯山地区日中活動支援センターで実施する放課後等デイサービス事業は、新型コロナウイルス感染症が流行する前から赤字経営が続いており、日中一時支援事業へのサービスの変更を今後検討していく。

津久井やまゆり園は、令和3年8月から芹が谷やまゆり園と2施設に分かれて運営を開始する。津久井やまゆり園・芹が谷やまゆり園ともに開所時における定員充足の見通しは良好であり、一定の収入が見込める一方、新しい建物での運営であることに加え、年度の途中での移行となるため、施設の維持管理等にどれくらいの費用がかかるか不透明な状況にある。新施設での運営開始後、収支の状況を速やかに分析し、法人直営事業との連携を図りながら両施設の経営の安定化に向けて取り組んでいく。

こうした各園・施設の厳しい経営状況を踏まえた令和3年度当初予算（案）は、法人全体の収支差額がマイナス1,689万円（ただし、人件費積立金取崩額5,000万円を除く法人全体の収支差額はマイナス6,689万円）となり、令和2年度当初予算と同様に大幅な赤字予算となった。この赤字は、秦野精華園と希望の丘はだのの厳しい経営状況が大きな要因

となっており、秦野精華園が法人立施設となり、それまでの指定管理料に相当する収入が確保できず収支の均衡が保てなくなったことに起因している。

こうした状況を改善するため、令和3年度は、利用者の確保、算定可能な加算の取得等、収入の確保に法人全体で最大限取り組み、併せて、人件費・事業費・事務費等の抑制に努め、経営の改善を図っていく。

<予算の全体額>

(単位：千円)

	拠点区分	令和2年度最終予算額	令和3年度当初予算額	増減
収入	法人本部	206,218	170,215	△ 36,003
		(119,329)	(120,215)	(886)
	秦野精華園	535,121	548,801	13,680
			(498,801)	(△ 36,320)
	希望の丘はだの	633,474	635,398	1,924
		(624,774)		(10,624)
	厚木精華園	836,055	838,375	2,320
	厚木地区事業	225,386	216,245	△ 9,141
	愛名やまゆり園	1,102,777	1,064,117	△ 38,660
	愛名地区事業	417,707	406,442	△ 11,265
津久井やまゆり園	914,418	821,173	△ 93,245	
津久井地区事業	366,939	319,679	△ 47,260	
	(333,750)		(△ 14,071)	
芹が谷やまゆり園	なし	477,688	477,688	
計	5,238,095	5,498,133	260,038	
	(5,109,317)	(5,398,133)	(288,816)	
支出	法人本部	208,887	173,094	△ 35,793
		(121,998)	(123,094)	(1,096)
	秦野精華園	596,801	550,548	△ 46,253
	希望の丘はだの	674,833	674,034	△ 799
	厚木精華園	828,041	831,342	3,301
		(818,041)		(13,301)
	厚木地区事業	225,009	212,640	△ 12,369
	愛名やまゆり園	1,084,541	1,037,782	△ 46,759
		(1,049,541)		(△ 11,759)
	愛名地区事業	406,182	410,320	4,138
津久井やまゆり園	905,422	843,126	△ 62,296	
津久井地区事業	349,105	304,775	△ 44,330	
芹が谷やまゆり園	なし	477,369	477,369	
計	5,278,821	5,515,030	236,209	
	(5,146,932)	(5,465,030)	(318,098)	
収支差額	法人本部	△ 2,669	△ 2,879	△ 210
		(△ 2,669)	(△ 2,879)	(△ 210)
	秦野精華園	△ 61,680	△ 1,747	59,933
			(△ 51,747)	(9,933)
	希望の丘はだの	△ 41,359	△ 38,636	2,723
		(△ 50,059)		(11,423)
	厚木精華園	8,014	7,033	△ 981
		(18,014)		(△ 10,981)
	厚木地区事業	377	3,605	3,228
	愛名やまゆり園	18,236	26,335	8,099
	(53,236)		(△ 26,901)	
愛名地区事業	11,525	△ 3,878	△ 15,403	
津久井やまゆり園	8,996	△ 21,953	△ 30,949	
津久井地区事業	17,834	14,904	△ 2,930	
	(△ 15,355)		(30,259)	
芹が谷やまゆり園	なし	319	319	
計	△ 40,726	△ 16,897	23,829	
	(△ 37,615)	(△ 66,897)	(△ 29,282)	

※下段カッコ内は人件費積立金の積立て・取崩し及びその資金の繰入れを除いた額

※収支差額欄の当初予算額は予備費を含む

(2) 収入について

令和3年度当初予算（案）では、津久井やまゆり園と芹が谷やまゆり園が8月から2施設体制となることによる自立支援給付費や指定管理料等の増収分の他、令和3年度障害福祉サービス等報酬改定（改定率+0.56%）における増見込み分を「障害福祉サービス等事業収入」に計上した。また、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金（「障害福祉サービス等事業収入」、「医療事業収入」及び「施設整備等補助金収入」計上分 令和2年度の合計約3,000万円）及び寄附金等に係る収入の予算は、前年度から大幅な減額となった。

<収入予算の内訳>

(単位:千円)

	勘定科目	令和2年度最終予算額	令和3年度当初予算額	増減
事業活動	就労支援事業収入	50,242	50,918	676
	障害福祉サービス等事業収入	4,564,311	4,938,794	374,483
	医療事業収入	98,184	80,291	△17,893
	経常経費寄附金収入	9,580	2,408	△7,172
	受取利息配当金収入	4	5	1
	その他の収入	42,242	42,269	27
	計	4,764,563	5,114,685	350,122
施設整備等	施設整備等補助金収入	6,953	0	△6,953
	固定資産売却収入	60	0	△60
	その他の施設整備等による収入	1,575	0	△1,575
	計	8,588	0	△8,588
その他の活動	退職給付引当資産取崩収入	13,734	13,734	0
	人件費積立資産取崩収入	41,889	50,000	8,111
		(0)	(0)	(0)
	修繕積立資産取崩収入	3,593	0	△3,593
	備品等購入積立資産取崩収入	4,000	11,320	7,320
	施設整備等積立資産取崩収入	5,000	0	△5,000
	津久井再生寄附金積立資産取崩収入	0	21,394	21,394
	拠点区分間繰入金収入	199,546	172,000	△27,546
		(112,657)	(122,000)	(9,343)
	サービス区分間繰入金収入	194,195	115,000	△79,195
その他の活動による収入	2,987	0	△2,987	
計	464,944	383,448	△81,496	
	(336,166)	(283,448)	(△52,718)	
収入合計		5,238,095	5,498,133	260,038
		(5,109,317)	(5,398,133)	(288,816)

※下段カッコ内は人件費積立金の取崩し及びその資金の繰入れを除いた額

○障害福祉サービス等事業収入 49億3,879万円（前年度予算額比 +3億7,448万円）

〔津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園の新施設開所にかかる自立支援給付費や指定管理料等の増収分、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金 △1,930万円、その他各事業における令和3年度障害福祉サービス等報酬改定に伴う給付費の増減等〕

○経常経費寄附金収入 240万円（前年度予算額比 △717万円）

○人件費積立資産取崩収入 5,000万円（前年度予算額比 +811万円）

○津久井再生寄附金積立資産取崩収入 2,139万円（前年度予算額比 +2,139万円）

(3) 支出について

支出については、津久井やまゆり園と芹が谷やまゆり園が8月から2施設体制となることによる人件費・事業費・事務費等の増額分を計上した。また、固定資産のうち、法人の所有となる固定資産（寄附金や補助金を原資として取得する固定資産及びソフトウェア等の無形固定資産で、令和3年度は車両、給与計算ソフト等）を取得するための予算を「固定資産取得支出」に計上し、県の所有となる固定資産（令和3年度は入浴用リフト、心電図検査機、厨房機器等）を取得するための予算を「その他の活動による支出（固定資産県移管支出）」に計上した。

<支出予算の内訳>

(単位：千円)

	勘定科目	令和2年度最終予算額	令和3年度当初予算額	増減
事業活動	人件費支出	3,414,181	3,648,554	234,373
	事業費支出	546,411	601,324	54,913
	事務費支出	719,488	801,406	81,918
	就労支援事業支出	48,576	50,918	2,342
	その他の支出	23,080	24,676	1,596
	計	4,751,736	5,126,878	375,142
施設整備等	固定資産取得支出	19,427	19,144	△ 283
	ファイナンス・リース債務の返済支出	10,209	12,447	2,238
	その他の施設整備等による支出	10	0	△ 10
	計	29,646	31,591	1,945
その他の活動	退職給付引当資産支出	42,635	47,644	5,009
	人件費積立資産支出	45,000	0	△ 45,000
		(0)	(0)	(0)
	備品等購入積立資産支出	7,500	0	△ 7,500
	設備整備等積立資産支出	1,638	0	△ 1,638
	拠点区分間繰入金支出	199,546	172,000	△ 27,546
		(112,657)	(122,000)	(9,343)
	サービス区分間繰入金支出	194,195	115,000	△ 79,195
その他の活動による支出	6,925	21,917	14,992	
	計	497,439	356,561	△ 140,878
		(365,550)	(306,561)	(△ 58,989)
支出合計		5,278,821	5,515,030	236,209
		(5,146,932)	(5,465,030)	(318,098)

※下段カッコ内は人件費積立金の積立て及びその資金の繰入れを除いた額

○人件費支出 36億4,855万円 (前年度予算額比 +2億3,437万円)

[津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園の新施設開所にかかる職員の増員に伴う増額分、人事考課に伴う人件費増、その他職員の定数配置にかかる予算増等]

○事業費支出 6億132万円 (前年度予算額比 +5,491万円)

[給食費 前年度予算額比 +1,238万円、水道光熱費 前年度予算額比 +2,370万円 他]

○事務費支出 8億140万円 (前年度予算額比 +8,191万円)

[修繕費 前年度予算額比 +3,492万円、業務委託費 前年度予算額比 +3,852万円 他]

○その他の活動による支出 2,191万円 (前年度予算額比 +1,499万円)

[固定資産県移管支出 前年度予算額比 +1,200万円 他]

(4) 収支差額について

令和3年度当初予算（案）における法人全体の収支差額（予備費を含む）は、令和2年度最終予算の収支差額 マイナス4,072万円 から2,382万円増の、マイナス1,689万円 となった。ただし、人件費積立金の積み立て及び取り崩しを除く単年度の収支の比較では、令和2年度最終予算の収支差額 マイナス3,761万円から2,928万円減の マイナス6,689万円となり、前年度に続き大変厳しい予算編成となった。

<指定管理事業・自主事業別収支予算額>

(単位：千円)

		拠点区分	令和2年度最終予算額	令和3年度当初予算額	増減
指定管理事業	収入	厚木精華園	836,055	838,375	2,320
		愛名やまゆり園	1,102,777	1,064,117	△ 38,660
		津久井やまゆり園	914,418	821,173	△ 93,245
		芹が谷やまゆり園	なし	477,688	477,688
		計	2,853,250	3,201,353	348,103
	支出	厚木精華園	828,041	831,342	3,301
		愛名やまゆり園	1,084,541	1,037,782	△ 46,759
		津久井やまゆり園	905,422	843,126	△ 62,296
		芹が谷やまゆり園	なし	477,369	477,369
		計	2,818,004 (2,773,004)	3,189,619 (3,189,619)	371,615 (416,615)
	収支差額	厚木精華園	8,014	7,033	△ 981
		愛名やまゆり園	18,236	26,335	8,099
		津久井やまゆり園	8,996	△ 21,953	△ 30,949
		芹が谷やまゆり園	なし	319	319
		計	35,246 (80,246)	11,734 (11,734)	△ 23,512 (△ 68,512)
自主事業	収入	法人本部	206,218	170,215	△ 36,003
		秦野精華園	535,121	548,801	13,680
		希望の丘はだの	633,474	635,398	1,924
		厚木地区事業	225,386	216,245	△ 9,141
		愛名地区事業	417,707	406,442	△ 11,265
		津久井地区事業	366,939	319,679	△ 47,260
		計	2,384,845 (2,256,067)	2,296,780 (2,196,780)	△ 88,065 (△ 59,287)
	支出	法人本部	208,887	173,094	△ 35,793
		秦野精華園	596,801	550,548	△ 46,253
		希望の丘はだの	674,833	674,034	△ 799
		厚木地区事業	225,009	212,640	△ 12,369
		愛名地区事業	406,182	410,320	4,138
		津久井地区事業	349,105	304,775	△ 44,330
		計	2,460,817 (2,373,928)	2,325,411 (2,275,411)	△ 135,406 (△ 98,517)
	収支差額	法人本部	△ 2,669	△ 2,879	△ 210
		秦野精華園	△ 61,680	△ 1,747	59,933
		希望の丘はだの	△ 41,359	△ 38,636	2,723
		厚木地区事業	377	3,605	3,228
愛名地区事業		11,525	△ 3,878	△ 15,403	
津久井地区事業		17,834	14,904	△ 2,930	
計		△ 75,972 (△ 117,861)	△ 28,631 (△ 78,631)	47,341 (39,230)	
法人合計	収入	5,238,095 (5,109,317)	5,498,133 (5,398,133)	260,038 (288,816)	
	支出	5,278,821 (5,146,932)	5,515,030 (5,465,030)	236,209 (318,098)	
	収支差額	△ 40,726 (△ 37,615)	△ 16,897 (△ 66,897)	23,829 (△ 29,282)	

※下段カッコ内は人件費積立金の積み立て・取崩し及びその資金の繰入れを除いた額

※収支差額欄の当初予算額は予備費を含む

